

やってみたい！ を カタチにしよう

みんなの居場所 まちライブラリー@千歳タウンプラザ

<サポーター会議>

2018年9月3日(月)

(昼の部) 14:00~15:30

参加者15名

(夜の部) 18:00~19:30

参加者10名

まちライブラリー@千歳タウンプラザでは、毎月1回「サポーター会議」を開催しています。その際に必ず行っているのは、自己紹介+本紹介です。普段、本を読まなくても大丈夫！昔好きだった本、最近気になっている本、写真集・絵本・漫画でもなんでもいいのです。ちょっとでも本が身近に感じられるひと時を共有できたら嬉しいです。そんな今回は、まちライブラリー@千歳タウンプラザで行われているイベントを振り返って参加者から感想をいただきました。

●パソコンひよこサロン

7名が交代で開催していて、パソコンに興味がある人からのあらゆる質問に答えています。初歩的なものでは、スイッチの入れ方から始まります。一人一人の質問に納得されるまで教えているので、駆け込み寺のようなものになっています。スマホにも対応するべく我々も日々勉強中です。

●ちーたん祭 in 夏休み・古本市

手遊びや演奏・読み聞かせ、新聞プールなどを行いました。企画からみんなでやりたいことを話し合いました。12月にはクリスマス会を予定しています。

●地図づくりワークショップ

Level2が発行されました。アナログとデジタルを意識しています。毎週土曜日に開催しており、取材してくれるライターや掲載するクイズを募集しています。

●回し読み朗読会

『15歳、ぬけがら』の指定箇所を読むのですが、声を出して読むと気持ちよかったです。

●みみちゃん絵本サロン

子どもが大好き、絵本が大好きな80歳のおばあちゃんが毎週開催しています。帯広や苫小牧でも読み聞かせを行うパワフルな方です。9/30のイベントにも登壇されます。

●文学少年少女の集い

好きな本の話や文豪イケメン選挙という企画の候補者を選びました。

●ドイツゲームであそぼう！

継続することで少しずつ認知され、最近は30~60名の参加があります。簡単なので初めての人も楽しめます。

●スタンプであそぼう！

自宅にたくさんスタンプがあったので、企画してみました。小さな子も参加してくれて楽しんでもらったので続けたい。

●ちーたんのフリーなマーケット

1ピッチなので小さめですが、お客さんと話がしやすく、のんびり交流できました。定期開催し、千歳タウンプラザで毎月やっているという認知がどんどん広がってほしいです。

●Skype 中継 大阪のまちライブラリーと。

千歳のまちライブラリーは他と比べると本当に広いということが再認識できました。写真では伝わらない部分を動画で伝えることができました。全国のまちライブラリーと繋がったり、テーマを設けて子ども参加も面白いと思いました。

●北海道書店ナビ 本のフルコース公開取材

観光に関する道内各地の話がきけて楽しかった。肉や魚など料理のコースに分けられた本の紹介を通して、本を選んだ理由をじっくり聞くことができた。

●ちーたんを描こう！

ゆるキャラちーたんを子ども達が描いたらどうなるかな？という思いでイベントを企画しました。子ども達が楽しんでくれて、個性的なちーたんを描いてくれたので、貼りだしています。

●あみものしょう！

「ちゃんと」を見て参加してくれた方がいました。参加者の中から継続してほしいという声があり、定期開催することになりました。

●バラの育て方講座

10月ぐらいまで季節ごとの育て方をやってみたいと思います。参加者からも「久しぶりに参加してよかった」と感想をもらいました。

●ゴールデンカムイナイト（上映会）

北海道が舞台の漫画です。1回目は読書会を開催し、その中から上映会の企画が生まれました。「イベント参加するの初めて」という方もいらっしゃいました。

●シリーズ「千歳を知ろう！」

昨年に引き続き、中原ナオヒコさんに講師を依頼しました。松浦武四郎についての内容も濃く、とても楽しいライブとなりました。次回の告知 9/6,9/29,10/16

「イベント」というと人を集めなければならないと思いますが、ゴールデンカムイが好きな人が集まって話すだけでもイベントです。主催に不安がある場合もスタッフが相談にのりますので、参加したり主催したりしてみてください。

Q、みなさんの告知の方法は？

A、「ちゃんと」への掲載、チラシの配布、口コミ、HP

Q、上映会の際の上映権・著作権は？

A、ジャスラックに確認しました。

Q、気になるイベントはありますか？

A、シャオニャンのライブも開催していてびっくりした！
聞けば聞くほど頭に残るメロディーですね。掛け声も◎



学生とイベント——千歳科学技術大学の先生より

S 先生) イベントの参加人数累計が541人。これだけ人を集めている事実に驚きました。情報発信の場としてまちライブラリーは良いなと思っています。札幌在住なのでなかなかイベントに参加できないけれど、「千歳を知ろう！」の開催には驚きますし、鉄道と観光のイベントなど参加したかった。科技大の学生がまちライブラリーにどれほど関わっているかということ、少数だと思いますが、これをどう発信するか、受け取るかが鍵となると思います。

スタッフ F) 学生にイベント参加してほしいと思うが、実際は主婦や高齢の方の参加が中心です。どうしたら学生が参加されるかまちライブラリーとしても考えています。

S 先生) 大学にはサークル活動があるので、アピールしたい学生はいると思う。手先が器用な学生もいるし大学祭で展示するだけでなく、工作イベントとして開催すれば市民と学生が接することができ、学生の目線が変わってくれることを期待したいと思います。まちライブラリーのことを知っている学生もいるが、その他大多数の学生は知らないなので、まちライブラリーを会場にイベントを開催することで学生に周知したいですね。まちライブラリーを知っているか、会員になっているかなども学生に聞いてみたいと思います。

会議を終えて。――古谷

今回は、まちライブラリーで開催したイベントの報告を中心に、実際に参加した方からお話をお聞きしたり、告知の方法や上映権などについて意見交換や情報交換を行いました。

大学の先生からのお話を通じては、まちライブラリー自体を知らない人がたくさんいることを改めて実感し、またこの場の使い方を周知することの難しさを痛感しました。

まちライブラリーは図書館のようで図書館ではない、市民の交流の場です。本を読んでいる人の横にはおしゃべりする人やご飯を食べる人、工作する人、音楽を奏でる人など、いろんな活動をする人がいる。そんな自由な場所ですが、「こういう場所ですよ」と伝えるには、アピールする側の工夫が必要だと感じました。

スタッフとしては、今後もこの場でいろいろな活動が出来るよう、サポートや情報発信をしていきたいと考えています。みなさんも「こんなことやってみたいんだけど…」と思っていることがありましたら、気軽にスタッフまでご相談ください。一緒に実現しましょう！

次回のサポーター会議は、

10月22日(月)14:00~15:30/18:00~19:30

北海道ブックフェス 2018「本のある街に生きる」開催決定！

開催日：9月30日（日）13:00～17:00

第1部 「絵本と子どもとまち～みみ先生の半世紀をふりかえる～」松嶋珪子

第2部 「千歳の情報を発信する！」石橋光子、高木緑

第3部 「それぞれの関わり方 まちライブラリーサポーター座談会」

第4部 「まちライブラリーっていったい何？提唱者、磯井さんへの公開取材！」

※イベントの詳細は、館内チラシやホームページ、Facebook ページをご確認ください。